

漁港は魚の保育園



漁港漁場月報のバックナンバーは左のQRコードから読むことができます

漁港漁場月報

令和7年3月15日 発行
毎月1回15日発行
公益社団法人 全国漁港漁場協会
高吉 晋吾
東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7
ワンピン神田ビル2階
電話 東京(020)60066
ホームページ http://www.gyokou.or.jp/
定価 1部 70円 (会員の購読料は会費の中に含む)

漁港漁場漁村整備議員連盟が総会



挨拶する鈴木会長

主幹本部会議室で総会を開き、令和6年度の漁港整備長期計画に従って、全国各地で整備が行われているところである。このうち、今日の重要な課題として、今日の漁港整備の重要性を再認識し、漁港整備の推進を図る。令和6年度の漁港整備長期計画は、令和5年度に引き続き、漁港整備の推進を図る。このうち、今日の重要な課題として、今日の漁港整備の重要性を再認識し、漁港整備の推進を図る。

令和6年度全国漁港漁場協会(公社)全国漁港漁場協会を開催

令和6年度全国漁港漁場協会(公社)全国漁港漁場協会を開催。本年度は来年度予算の概要や、漁業の老朽化対策、災害対応等について、講演会を開催し、関係者約360名が参加した。冒頭、高吉会長から、「この講演会、水産庁の後援のもと毎年実施しており、昨年からオンラインで開催し、リアルでの会議に比べ多くの方に参加していただいている。講習会の内容については、都道府県、市町村、関係団体等の実務者、最新の情報を提供すべく、テーマを選定しており、今

長期計画の中にも含まれるという、大変幅広い事業となっている。この中で、例えば海産物の加工、漁港整備を核としながらも漁村全体にかかわることも出来るようになってきている。このように時代の変化や要請にも対応し、今日の漁港整備の重要性を再認識し、漁港整備の推進を図る。令和6年度の漁港整備長期計画は、令和5年度に引き続き、漁港整備の推進を図る。このうち、今日の重要な課題として、今日の漁港整備の重要性を再認識し、漁港整備の推進を図る。

令和6年度漁村女性セミナー開催

令和6年度漁村女性セミナー開催。全国漁港漁場協会(公社)は、3月3日午後1時から、東京都代田区レジーナにおいて、令和6年度漁村女性セミナーを開催し、関係者約60名の参加を得て開催した。

これは、加藤財務大臣への要請や財務省の主旨官も同行された静岡県の現地視察など、漁港整備の先駆的な力強いご支援のおかげであることより感謝申し上げます。現在、水産業と漁村は、海洋環境の劇的な変化、南海トラフ地震等の切迫、台風等の激甚化、そして漁業就業人口の減少や高齢化など多くの課題に直面している。これら課題に対応するためには、水産基盤の整備と関係強化が不可欠である。私ども関係団体も地域の要請を踏まえ、必要な予算の確保や関連施策の実現、その普及・啓発に努力したいと述べた。出席議員からは、「漁港が整備されると、そこ

令和6年度漁村女性セミナー開催

開会にあたり、高吉晋吾協会会長が、全国漁港漁場協会として、大規模な火災発生による被害に遭ったこと、このセミナーは、平成12年に女性役員シンポジウムから始まり、その後、名称を変えながら、現在、漁村女性セミナーにまで至っている。漁村の暮らしに主体的に関わる女性の意見や力が、必要不可欠である。今年度は、大規模な火災や気候変動の影響を受ける中で、これを乗り越えるための女性役割、活動について考えたい。本セミナーの成果が、漁村の発展に役立つことを期待して、今年度のセミナーは、大

本人出席の国会議員43名は次の通り(順不同、敬称略)
(参議院議員)
青木一彦、井上義行、江島潔、加田裕一、進藤金吾子、末松信介、高橋はるみ、滝沢亮、滝波宏文、鶴保健介、長官、藤川政人、三浦誠、舞立昇治、三浦伸吾、山本順三、代理出席は、政府側出席者記載。

パネルディスカッションの様子

規模災害や気候変動下における水産業の未来に向けて「女性ネットワーク」の取組の推進として、3名の講師にそれぞれをテーマとしてパネルディスカッション形式で行われた。話題提供の議題として加わり、登壇者によるパネルディスカッションが行われた。



パネルディスカッションの様子

「第18回築地セミナー」を開催

(一社)水産土木建設技術センター



講演する田中氏

(一社)水産土木建設技術センター(吉塚靖浩理事長)は、2月25日午後3時30分から東京都名会議室において、約60名の参加による築地セミナーを開催した。

第9回技術報告会を開催

(一社)漁港漁場新技術研究会

(一社)漁港漁場新技術研究会(橋本収会長)は、2月18日に東京神田のエッサム神田ホール2号館3F大会室にてWeb併用形式で、水産庁、都道府県・市町村、会員、民間企業等を対象に、第9回技術報告会を開催した。参加者は会場44名、WEB参加は107名となり、このうち都道府県・市町村からの参加が約3割となっており、行政担当者や新技術に対する関心の高さが伺えた。開会にあたり、橋本会長は、「研究会は、足場の強い水産業と住みやす

漁港漁場関係研修会を開催

福岡県漁港漁場協会

和和6年(一社)福岡県漁港漁場協会(会長・佐藤政俊)は、2月27日「福岡県中小企業振興センター」において令和6年度漁港漁場関係研修会を開催した。

水産基盤整備・維持管理に係る市町村支援のための連絡協議会

令和6年度会議を開催



連絡協議会の様子

水産基盤整備・維持管理に係る市町村支援のための連絡協議会は、3月5日、東京都内で令和6年度会議を開催した。会議には、協議会構成団体の(公社)全国漁港

場漁村整備事業について、②組織体制・連携の様々な思いを忘なく、③変化への対応、④将来話してもらいたい」と挨拶した。



代表的な取組を報告させていた。この報告が、浜々で様々な問題と戦っている方々に、大きなヒントとなることを祈っている」と挨拶した。

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と



写真に納まる受賞者ら

研究・教育機構水産技術研究所の担当者も出席した。会長の吉塚靖浩(一社)水産土木建設技術センター理事長が「人材の確保に苦慮する時代となり、技術者が不足している市町村も多い。各団体が協力して市町村の支援を行い、水産基盤整備事業を円滑に推進していくことが必要。水産庁に協力して全力で対応したい」と挨拶した。

市町村が漁港漁場整備事業等を円滑に推進できるよう支援していきたいとのことで、協議会も協力をお願いしたいと挨拶があった。

「研究報告会を開催し、参加者は会場44名、WEB参加は107名となり、このうち都道府県・市町村からの参加が約3割となっており、行政担当者や新技術に対する関心の高さが伺えた。開会にあたり、橋本会長は、「研究会は、足場の強い水産業と住みやす

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と



写真に納まる受賞者ら

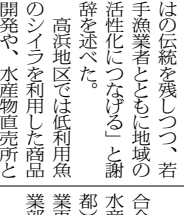
支援内容を紹介した。バリエーションや支援の具体的な内容についての資料が紹介された。協議会のホームページには、構成団体のホームページ、連絡先、QRコードからアクセスできる。

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と



写真に納まる受賞者ら

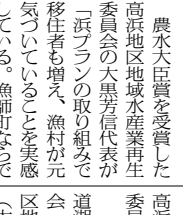
研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。



写真に納まる受賞者ら

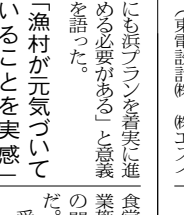
研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。



写真に納まる受賞者ら

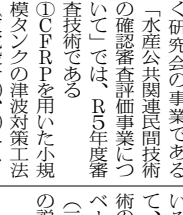
研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。



写真に納まる受賞者ら

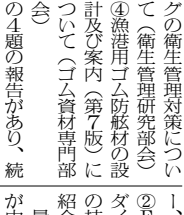
研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。

「漁村が元気づいていくことを実感」農水大臣賞を受賞した高浜地区地域水産再生委員会(大分県)は、高浜地区では、低利用魚のシイラを利用した商品開発や、水産物直売所と

研修会では、島地震災術検討会報告(防災専門部)について(一社)水産土木建設技術センターの報告があった。



写真に納まる受賞者ら